

暮らしの経済学Ⅱ

科目ナンバリング PFP-206
選択 2単位

湯川 志保

1. 授業の概要(ねらい)

この授業では、仕事や子育て、消費者問題など、皆さんが生活する上で直面する問題について経済学的視点から考えていきます。授業を通じて得た知識は、社会に出て仕事や生活をする際にも役立ちます。これらに関する諸問題を理解し、批評できる水準まで力を養ってもらうことを目指します。

2. 授業の到達目標

- (1) 学生が授業で扱った内容について説明ができる。
- (2) 学生が将来のライフプランについて自分なりの考えを持てるようになる。
- (3) 学生が授業で扱った問題について経済学視点から批評できる。

3. 成績評価の方法および基準

期末に行う試験70%と小レポートの提出30%で総合的に評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

毎回の授業で、講義資料を配布する予定です。その他に必要な文献や資料があれば、授業で適宜紹介します。

参考文献

馬場紀子・宮本みち子・御船美智子(著) 『生活経済論』 有斐閣アルマ

大藪千穂(著) 『生活経済学』 NHK出版

棕野美智子・田中耕太郎(著) 『はじめての社会保障第18版』 有斐閣アルマ

駒村康平・山田篤裕・四方理人・田中総一郎・丸山桂(著) 『社会政策 福祉と労働の経済学』 有斐閣アルマ

5. 準備学修の内容

- (1) 講義資料を読み直し、重要な点についてはノートなどにまとめ直すことをおすすめします。
- (2) 授業で出てきた経済用語や定義についてもテーマごとに整理しておくといいでしょう。
- (3) 各トピックについて自分なりの考えをノートなどにまとめておくといいでしょう。

6. その他履修上の注意事項

皆さんの生活に関連する問題を取扱いますので、授業に積極的に参加してください。また、授業内容についてわからないことがあれば、遠慮なく質問してください。

他の受講者の迷惑になるような行為は減点の対象になります。

受講者の状況等をみて、授業内容を調整する場合もあります。

7. 授業内容

- | | |
|--------|-------------------------------------|
| 【第1回】 | 授業ガイダンス
授業の内容や計画、評価方法についての説明 |
| 【第2回】 | 暮らしの経済学Ⅰの復習 |
| 【第3回】 | 生活と社会保障(1)
社会保障制度の概要 |
| 【第4回】 | 生活と社会保障(2)
医療保険 |
| 【第5回】 | 生活と社会保障(3)
生活保護制度 |
| 【第6回】 | 生活と社会保障(4)
年金制度 |
| 【第7回】 | 生活と社会保障(5)
高齢化社会と介護 |
| 【第8回】 | 消費者問題
消費者問題の現状と消費者問題に対する取り組み |
| 【第9回】 | 第2回～第8回までの授業内容の確認 |
| 【第10回】 | 生活時間(1)
日本人の生活時間 |
| 【第11回】 | 生活時間(2)
仕事と家庭の両立 仕事と家庭の両立支援策 |
| 【第12回】 | 単身世帯と2人以上の世帯の家計
単身世帯の生活 2以上世帯の生活 |
| 【第13回】 | ひとり親世帯の家計
母子世帯と父子世帯の生活 |
| 【第14回】 | 高齢者世帯の家計
高齢者世帯の生活 |
| 【第15回】 | 授業の総括と期末試験 |